

# 3年学年だより

吹田市立第二中学校 第三学年  
平成28(2016)年5月31日(火)発行  
No.16

## 114人の最高の仲間と、最高の旅を

いよいよ修学旅行まであと2日となりました。修学旅行が最高の旅になるように、MOJを中心に準備・計画を進めてきました。修学旅行の計画の中で「楽しみ過ぎる〜!」「絶対おもしろいやん!」と想像を膨らませるみんなを見ていると、先生達も非常に楽しみになります。

「最高の仲間と、最高の旅を」というMOJの目標は代議員でアイデアを出し合い、決まりました。とても良い目標だと思います。この目標に向かって、みんなの気持ちは1つになっていますか？

「最高の旅にしたい」という思いは、全員が同じ思いだと思います。しかし、「最高の仲間と」というところは、今、この言葉の意味をはっきりと確認しておく必要があると思います。

みんなにとって「最高の仲間」とはだれの事ですか？いつも一緒にいる気の合う友達の事？距離感が一番近い、親しい友達の事？もしも、「最高の仲間」という言葉の意味が、この程度なのであれば、「最高の旅」にするのは難しいと思います。

シャツが出ている仲間。提出物が出せていない仲間。話を聞いていない仲間。遅刻・欠席している仲間。

そのような仲間が、自分たちのクラス・学年にいます。このような仲間がいれば先生達が注意する。見慣れた日常の光景ですね。

コツコツと積み上げる日常の積み重ねは、知らないうちに、自分たちに大きな力をつけてくれることもあります。その逆に、知らないうちに、当たり前になってはいけませんが、慣れてしまい、麻痺させられてしまうこともあります。

この「慣れ」「麻痺」の状態から目を覚まさないといけないと思います。

この状態を「普通」と思い、何をしようが「平気」な態度を見せる仲間は目を覚まさないといけないと思います。

その仲間に対して、「〇〇はしゃあない」「別にいいやん」と言って「笑う」態度、「どうでもいい」「知らん」と「無視する」態度を見せるのは最高の仲間って言えるかな？

この状態をほったらかしにしている、修学旅行は最高の旅になりますか？

改善すべきは、慣れてしまい、麻痺してしまっている態度です。

先生に注意されてから直す、先生に注意された時だけ直す、の繰り返しから抜け出しましょう。注意されて気分が良くなる人はいません。する方も同じです。

自ら気づいて直す、仲間に声をかける、仲間の声かけを素直に聞く。

そうやって、何事も自分たちでできた方が、楽しいし、自分たちの力にもなります。「最高の旅に」するには自分たちの力でやり遂げることが、必要不可欠です。

「最高の仲間」は、シャツが出ている仲間、提出物が出せていない仲間、話を聞いていない仲間、遅刻・欠席している仲間も含めた114人であるべきだと思います。縁があって、二中で3年間を共に過ごすことになった仲間を大切にしてください。

「最高の仲間」という言葉を上っ面だけの言葉にせず、君たちが2年間育ててきた本当のつながりを発揮できるようにしてください。

この旅でつながりをさらに広げ、深めましょう。

最高の旅になりますように。